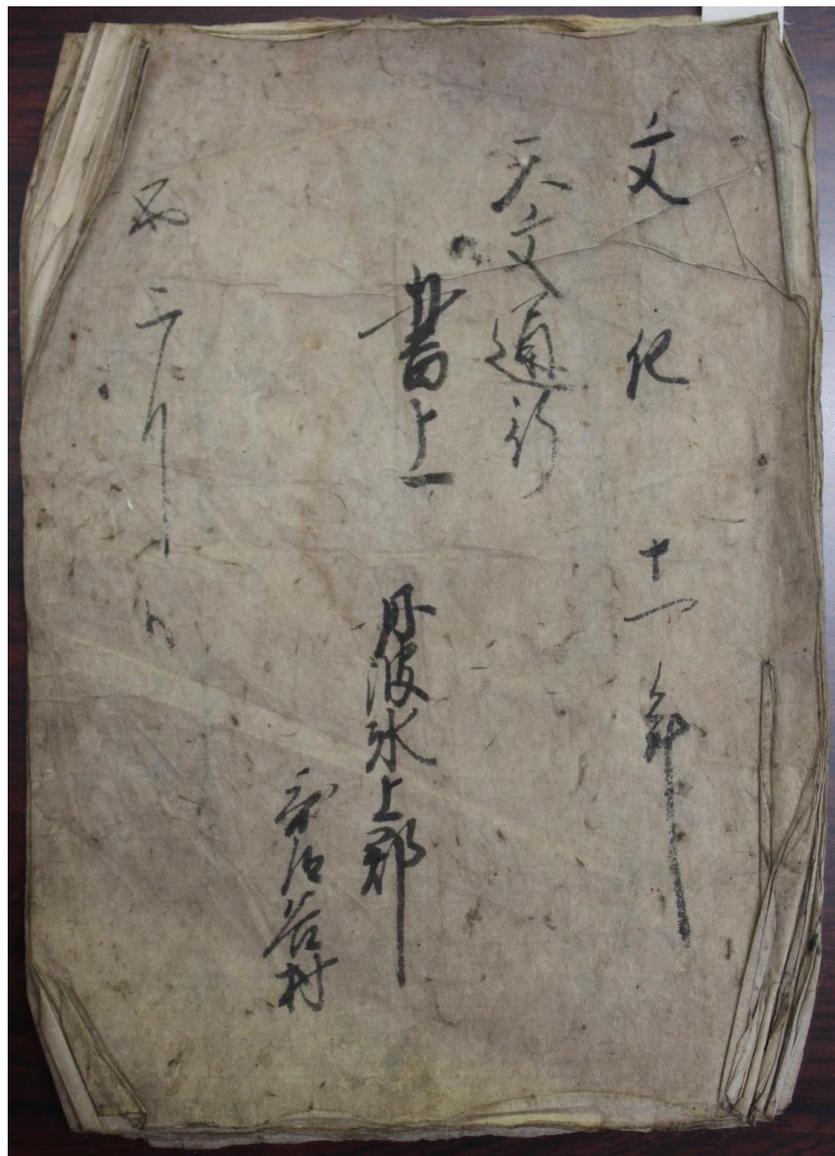


2019年8月18日 歌道谷自治会の「古文書虫干し」を、昨年に引き続き、拝見しました。
お世話になり、ありがとうございました。

今年、拝見した中で興味深かったのが、幕府の天文方(てんもんがた)の役人が通過した時に、村の様子を記して報告した書類の写しです。その役人とは、あの有名な、伊能忠敬です。

伊能忠敬の日記には、文化十一年二月一日に小多利村の由良新左衛門宅に泊まり、二日には栢原町(栢原町)の土田太郎右衛門宅に泊まった、との記述があります。小多利から栢原に行く間に、歌道谷村を通過したのでね。日記を裏付ける、第一級の史料だと思います。

できるだけ早く、皆さまにご報告できればと思っています。



書上げ帳 表紙

文化十一年(1814)

天文通行
書上

丹波氷上郡
歌道谷村

戊二月日

御通行

伊能勘解由

右之通世及側皇御用ト通所及りみしに法

正度乃石ノ通ト記帳書残者程又御通所

正度乃石ノ通ト記帳書残者程又御通所

差上申中

右橋化屋門

伊能勘解由

右橋化屋門

天文方

右橋化屋門

右外 義仲間上下橋之人

御通行ハ二月九ツ時

宿小多利

御通行ハ二月九ツ時

宿小多利

御通行ハ二月九ツ時

宿小多利

のところに
「伊能勘解由」(いのかげ
ゆ)
とあります。勘解由は、伊能
忠敬の通称です。(勘解由とい
うのは元々は古代の役職名です)
「御通行ハ二月九ツ時」
との記述もあります。
確かに伊能忠敬が歌道谷村
にやってきたことがわかり
ます。